

## 2020 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	環太平洋文明研究センター
---------	--------------

## I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなうだけでいいだけわかりやすく記述してください。

## ■拠点全体の研究成果要約

◇定例研究会の継続と紀要の刊行:

持続可能な社会のモデル提言に関する研究会を継続的に計 5 回開催し、議論を深めた。モデル提示の内容と方法に関して、レジリエンスを軸とすることや圏論に着目したモデル提示を試行した。研究会の概要および発表に関する論文を『環太平洋文明研究紀要』5 号に掲載している。すべて ZOOM で実施したが、東京から人類学者の内尾太一麗澤大学准教授にゲストとして発表していただき、今後は客員協力研究員としてセンターの研究に協力していただくことになった。

◇新任の専門研究員と客員協力研究員による新たな研究成果:

専門研究員であった福本侑が後半期から大阪市立大学博士奨励研究員に採用され異動したため、文学研究科博士後期課程院生 Corey Tyrer NOXON を専門研究員として採用した。NOXON は統計学的手法を駆使した縄文時代人口推定に関する博士論文の一部を英文国際誌に投稿した。客員協力研究員小野林太郎は国立民族学博物館「地域研究画像デジタルライブラリ (DiPLAS)」に採択され、矢野健一の協力のもと客員協力研究員福本繁樹の南太平洋民族調査・収集資料写真約 5000 点のデジタル化を完了した。現在、民博データベース上での公開に向けて準備している。

## ■各グループの研究成果

◇第 1 班(環境考古学/河角直美グループ): 年縞堆積物等の分析にもとづく過去一万年間の環境変化の解明:

水月湖のボーリング試料について過去 8 千年間の部位において詳細な層相観察、画像解析を行った結果、淡い色の層準が洪水堆積物の指標として使える可能性があることが示された。また中川の国際グループは水月湖の試料の過去 5 万年間分について年縞ごとに炭素年代を再測定した。その結果、他の世界各地の年縞試料との間でより整合性のある放射性炭素データを示すことに成功した。他に、福本はモンゴルとベトナムで年縞調査・分析を実施した。

◇第 2 班(文化人類学/小川さやかグループ): 人口変化と社会的要因に関する国際的な比較研究:

小川さやかの『チョンキンマンションのボスは知っている』(春秋社、2019 年)が、第 51 回大宅壮一ノンフィクション賞および第 8 回河合隼雄学芸賞をダブル受賞した。小川は引き続き、香港のアフリカ社会およびタンザニア本土のインフォーマル経済における急速なギグ・エコミー化について調査研究を実施している。他に、冨田はモンゴル、古川はペルー、岩田は京都での調査を実施し、各々、論文を公表した。

◇第 3 班(縄文考古学/矢野健一グループ): 約一万年間の縄文時代の人口推定と社会の変化の分析:

中村は、考古学的人口動態研究の基盤である人口推定手法の改良に取り組み、住居跡数と遺跡数の両データの異なる特性を明らかにし、その成果に関する論文を公表した。矢野は長浜城歴史博物館が開催した企画展「葛籠尾崎湖底遺跡―深湖に眠る水の宝―」の図録作成に協力し、新たに公開された葛籠尾崎湖底遺跡出土土器の調査を行った。

◇第 4 班(災害地理学/高橋学グループ): 地形環境と災害、気候変化が人間社会とその土地利用におよぼす影響の分析:

高橋は地震データベースを作成している。台風、洪水の被害歴調査も進めている。2019 年の台風 15・19 号が与えた大被害は、土地履歴に留意しない無理な国土開発の結果であることを論文で公表し、警鐘を鳴らしている。神松幸弘助教が特定地形の土地利用と関係するツル植物から『甘葛(あまづら)を復元し『枕草子』『今昔物語集』に登場した究極古代スイーツを作る』で講談社ブルーバックスアウトリーチに採択されている。

## ■今後の展望

◇大型外部資金の獲得:

科研費基盤 A と S に R-GIRO 研究プログラムと同様の研究課題で応募したが、不採択に終わった(2021 年 6 月現在)。R-GIRO で企画している学際的で包括的な研究課題が個別分野で審査される科研費の基盤研究にそぐわないのではないかと反省し、より個別性の強い課題で応募を計画している。また、センター構成員が含まれるプロジェクトを企画し、R-GIRO 4 期に申請する。このプロジェクトには新しいメンバーが多数含まれるので、センターの研究の幅を広げる機会として十分に生かしていきたい。

## II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2021年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位	
センター長	矢野 健一	文学部	教授	
運営委員	高橋 学	文学部	特任教授	
	小川 さやか	先端総合学術研究科	教授	
	河角 直美	文学部	准教授	
	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	政策科学部	准教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	中川 毅	総合科学技術研究機構	特別招聘研究教員 (教授)	
	島田 伸敬	情報理工学部	教授	
	川村 貞夫	理工学部	教授	
	中村 大	立命館グローバル・イノベーション研究機構	研究教員(助教)	
	神松 幸弘	立命館グローバル・イノベーション研究機構	研究教員(助教)	
	富田 敬大	立命館グローバル・イノベーション研究機構	研究教員(助教)	
学内の若手研究者	古川 勇氣	衣笠総合研究機構	専門研究員	
	杜 海寧(アルベルトウス =トーマス・モリ)	先端総合学術研究科	初任研究員	
	補助研究員・リサーチアシスタント	Corey Noxon Tyler	立命館グローバル・イノベーション研究機構	リサーチアシスタント (博士課程後期課程)
	大学院生	酒向 溪一郎	先端総合学術研究科	博士課程後期課程
	学振特別研究員 (PD・RPD)	---	---	---
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等)	岩田 京子	先端総合学術研究科	研究指導助手	
	市木 尚利	文学部	授業担当講師	
客員協力研究員	尾関 清子	東海学園女子短期大学	名誉教授	
	小野 林太郎	国立民族学博物館人類文明誌研究部	准教授	
	中嶋 直樹	---	---	
	北川 淳子	福井県年縞博物館	学芸員	
	宮多良 ディスネル	関西外国語大学外国語学部	非常勤講師	
	近藤 宏	早稲田大学教育学部複合文化学科	助教	
	清水 昭	福島県立医科大学	特任教授	
	那須 浩郎	岡山理科大学生物地球学部生物地球学科	准教授	

	魚津(東村) 純子	福井大学国際地域学部	講師
	藤木 利之	岡山理科大学理学部基礎理学科	准教授
	福本 繁樹	金沢美術工業大学	非常勤講師
	真邊 彩	鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター	文化財専門員
	福本 侑	大阪市立大学大学院理学研究科	博士奨励研究員
	森下 直紀	和光大学経済経営学部経済学科	講師
	山田 和芳	ふじのくに地球環境史ミュージアム	教授
	内尾 太一	麗澤大学国際学部	准教授
	瀧上 舞	国立歴史民俗博物館	プロジェクト研究員
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	外山 秀一	皇學館大学文学部	教授
	高山 浩司	京都大学理学研究科	准教授
	森 勇一	金城学院大学	講師
	石田 智恵	早稲田大学法学学術院	准教授
	上峯 篤史	南山大学人文学部	准教授
	木村 啓章	大阪府教育庁	技師
	幡中 光輔	出雲市文化財課	主事
	中村 豊	徳島大学大学院社会産業理工学研究部(社会総合科学域)	教授
	遠部 慎	久万高原町教育委員会	主事
	宮地 聡一郎	福岡県教育委員会	主査
	栗畑 光博	都城市教育委員会	主幹
	松森 智彦	同志社大学人文科学研究所	嘱託研究員
	菅原 大助	ふじのくに地球環境史ミュージアム	准教授
	小野 映介	駒澤大学文学部	教授
	桐村 喬	皇學館大学	准教授
丸山 敦	龍谷大学	准教授	
研究所・センター構成員	計 50 名	(うち学内の若手研究者 計 4 名)	

### Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2021年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	小川さやか	「清水貴夫編「現代アフリカ文化の今—15の視点から、その現在地を探る」	共著	2020年5月	青幻舎,『いまだ遭遇していない者を織り込んだ「コミュニティ」—香港のタンザニア人の事例から』	ウスビ・サコ	pp.182-191

2	小川さやか	「資本主義経済のなかに迂回路をひらく」	共著	2020年5月	河出書房新社、『思想としての＜新型コロナウイルス禍＞』	大澤真幸ほか18人	pp.108-118
3	近藤宏	「レヴィ＝ストロース」	共著	2020年7月	ミネルヴァ書房、『現代フランス哲学入門』	川口茂雄, 越門勝彦, 三宅岳史	pp.230-234
4	上峯篤史 (訳編著)	「石の目を読む 石器研究のための破壊力学とフラクトグラフィ」	共著	2020年4月	京都大学学術出版会	アレ・ツィルク(原著)	242p
5	近藤宏	「ヤノマミ」	単著	2021年1月	丸善出版, ラテンアメリカ文化事典編集委員会編, 『ラテンアメリカ文化事典』		pp.152-153
6	古川勇氣	『チーズづくりの民族誌 ペルー山村の暮らしと市場をつなぐ「計算」と「配慮」』	単著	2020年11月	大学教育出版		248p
7	古川勇氣	「酪農と乳利用」	単著	2021年1月	丸善出版, ラテンアメリカ文化事典編集委員会編, 『ラテンアメリカ文化事典』		pp.204-205
8	SAUCEDO SEGAMI, D.	Historical Archaeology in Peru	共著	2020年10月	Chirinos Ogata, P. Smith, C., Fournier, P. (ed) Encyclopedia of Global Archaeology (2020 Edition)		pp. 5077-5086
9	サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ	現代社会の中の文化遺産 —ラテンアメリカにおけるパブリックアーケオロジーの展開	単著	2021年1月	アメリカ文化辞典		pp. 66-67
10	サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ	17章ラテンアメリカと日本	(編集者) 共著	2021年1月	ラテンアメリカ文化事典編集委員会 [編] 關雄二 ラテンアメリカ文化辞典		pp. 615-655

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	福本侑	「フィンランドにおける年縞堆積物から産出する珪藻遺骸群集—人新世環境変動アーカイブとしての年縞湖沼堆積物の活用をめざして—」	共著	2020年4月	雄山閣、『環境考古学と富士山』, 第4号	鹿島薫, Timo Saarinen	pp.53-63	有
2	T.Nakagawa, K.Yamada, J.Kitagawa	「Constraints on the Timing of Explosive Volcanism at Aso and Aira Calderas (Japan) Between 50 and 30 ka: New Insights From the Lake Suigetsu Sedimentary Record (SG14 Core)」	共著	2020年8月	『Geochemistry, Geophysics, GeosystemsVolume:21(8)』, AGU journal	McLean, D 他	pp.1-21	有
3	北川淳子 山田和芳	「縄環境史学の新天地 福井県三方五湖の堆積物に記録される洪水と花粉分析から推測される植生への影響」	共著	2020年4月	雄山閣、『環境考古学と富士山』, 第4号	瀬戸浩二, 篠塚良嗣, 小島秀彰 吉田丈人	pp.11-19	有
4	H. Nasu	「Monumental architecture at Aguada Fénix and the rise of Maya civilization」	共著	2020年6月	Nature, 582	T.Inomata, D. Triadan, V.A. Vázquez López, J.C.Fernandez-Díaz, T.Omori, M. B.	pp.530-533	有

						Méndez Bauer, M. G. Hernández, T. Beach, C. Cagnato, K. Aoyama		
5	H. Nasu	「Building a high-resolution chronology at the Maya archaeological site of El Palmar, Mexico.」	共著	2020年12月	『Archeometry』, 62-6	K. Tsukamoto, F. Tokanai, T. Moriya,	pp.1235-1266	有
6	Nakagawa T.	“Extreme flood events and their frequency variations during the middle to late-Holocene recorded in the sediment of Lake Suigetsu, central Japan”	共著	2020年10月	The Holocene , vol. 31, 1	Suzuki Y., 他5名	pp.121-133	有
7	福本侑	「珪藻遺骸分析から考察する3.11東北津波がもたらした気仙沼湾の環境変動」	共著	2020年度発行	兵庫教育大学地理学・地理教育研究室, 『兵庫教育大学地理学, 地理教育研究室研究報告』, 第25号	塩見良三, 原口強	pp.38-49	無
8	福本侑	「フィンランドにおける年縞堆積物から産出する珪藻遺骸群集-人新世環境変動アーカイブとしての年縞湖沼堆積物の活用をめざして-」	共著	2020年4月	雄山閣, 『環境考古学と富士山』, 第4号	鹿島薫, Timo Saarinen	pp.53-63	無
9	Fukumoto Y.	“Environmental history recorded over the last 70 years in Biển Hồ maar sediment, Central Highlands of Vietnam”	共著	2020年5月	Quaternary International	Nguyễn-Văn H., 他15名		有
10	北川淳子 山田和芳	「縞環境史学の新天地 福井県三方五湖の堆積物に記録される洪水と花粉分析から推測される植生への影響」	共著	2020年4月	雄山閣, 『環境考古学と富士山』, 第4号	瀬戸浩二, 篠塚良嗣, 小島秀彰 吉田丈人	pp.11-19	無
11	山田和芳	「地理学者がみた富士山のここがすごい-富士山の恩恵と禍害-」	単著	2020年4月	雄山閣, 『環境考古学と富士山』, 第4号		pp.76-85	無
12	山田和芳	「北海道網走湖における年縞堆積物の特徴と近年の環境変化」	共著	2020年4月	雄山閣, 『環境考古学と富士山』, 第4号	瀬戸浩二, 香月興太, 北川淳子, 園田武, 川尻敏文	pp.53-65	無
13	山田和芳	「湖沼堆積物と生物遺骸が可能にする長期生態・進化的研究」	共著	2020年4月	雄山閣, 『環境考古学と富士山』, 第4号	大竹裕里恵, 大槻朝, 占部城太郎, 木村成子, 吉田丈人	pp.42-52	無
14	小川さやか	「ビニール袋のない新生活様式(めいん・すとりと)」	単著	2020年8月	公益産業研究調査会, 『公研』, 2020年8月号		pp.12-13	無
15	小川さやか	「いま読みたい本, 読むべき本」	単著	2020年7月	『クロワッサン』, 2020年7月25日号		pp.24-25	無
16	小川さやか	「マイク・モラスキ『呑めば、都』(特集コロナ時代を生きるための60冊)」	単著	2020年11月	青土社, 『現代思想』, Vol.48(11)		pp.286-289	無

17	小川さやか	「いま再読したい「私を変えた一冊」	単著	2020年9月	講談社、『群像』, 75巻10号		p.161	無
18	小川さやか	「<対談>調査する人生(1)すべてを感じたい」	共著	2020年9月	岩波書店、『図書』, 9月号	岸政彦	pp.48-54	無
19	小川さやか	「新刊この一冊 高須正和・高口康太編『プロトタイプシティ-深川と世界的イノベーション』」	単著	2020年9月	中央公論社、『中央公論』, 2020年10月号		pp.212-213	無
20	古川勇氣	「新型コロナ感染拡大初期の反応〜ペル調査の経験と国内封鎖への対処」	単著	2020年7月	東京外国語大学AA 研特設サイト「COVID-19とフィールド・ワーカー」			無
21	岩田京子	「地域社会と観光者のインターフェイスとしてのモノー京都市先斗町における花の路上展示から生まれる共同性」	単著	2021年3月	環太平洋文明研究センター、『環太平洋文明研究』, 第5号		pp.35-54	有
22	近藤宏	「ドムスの隙間から見る関係性の関係-パナマ東部先住民エンベラのブタ飼育」	単著	2020年12月	日本文化人類学会、『文化人類学』, 85巻3号		pp.416-435	有
23	古川勇氣	「外的景観と内的景観の横断によるけん制-ペル、カハマルカ県の鉱山開発をめぐる事例から-」	単著	2021年3月	環太平洋文明研究センター、『環太平洋文明研究』, 第5号		pp.1-17	有
24	小川さやか	「特集コロナの秋に読む オルタナティブな世界を構想する-アナキズムから現在を見つめる10冊」	単著	2020年10月	朝日新聞社、『Journalism』, 365号		pp.16-21	無
25	小川さやか	「話すことが支える「その日暮らし」」	単著	2021年3月	丸善出版、『學燈』, vol.118(1)		pp.10-13	無
26	小川さやか	「新刊この一冊 高須正和・高口康太編『プロトタイプシティ-深川と世界的イノベーション』」	単著	2020年9月	中央公論新社、『中央公論』, 2020年10月号		pp.212-213	無
27	小川さやか	「書評 茂木健一郎『クオリアと人工意識』」	単著	2020年10月	第三文明社、『第三文明』, no.731		p.92	無
28	小川さやか	「書評 新橋は東京の最後の秘境か『新橋パラダイス』村岡俊也」	単著	2020年11月	文藝春秋、『文藝春秋』, 11巻19号		p.102	無
29	小川さやか	「書評 斎藤環・與那覇潤『心を病んだらいけないの？-うつ病社会の処方箋』」	単著	2020年11月	第三文明社、『第三文明』, no.732		p.86	無
30	小川さやか	「文献紹介 デイヴィッド・グレーバー著『ブルシット・ジョブ-クソどうでもいい仕事の理論』」	単著	2020年12月	ブックファースト、『名著百選2020』, 11		p.11	無
31	小川さやか	「ひとときエッセイ「そして旅へ」あの家でみた景色」	単著	2020年11月	ウェッジ、『ひととき』, 20巻20号		p.11	無
32	小川さやか	「書評 だまされることが下手な人に 星野智幸著『だまされ屋さん』」	単著	2021年1月	講談社、『群像』, 76巻2号,		pp.520-521	無

33	小川さやか	「新書大賞 2021」	単著	2021年3月	中央公論新社、『中央公論』, 2021年3月号		pp.156-158	無
34	小川さやか	「タンザニアの商人とオルタナティブな経済」	単著	2021年2月	博報堂、『広告 特集 流通』, vol.415		pp.446-463	無
35	遠部慎	「一尺谷上池東遺跡の年代学的研究」	共著	2020年6月	古吉備研究会、『古代吉備』, 31号	菅紀浩, 米田穰, 畑山智史	pp.1-15	有
36	遠部慎	「愛媛県上黒岩第2岩陰遺跡の調査」	共著	2020年5月	日本考古学協会、『日本考古学』, 第50号	小林謙一, 奈良貴史, 米田穰, 及川穰	pp.53-60	有
37	遠部慎	「石打ち習俗の推移-西予市野村町中筋周辺の事例-」	単著	2020年8月	神奈川大学日本常民文化研究所、『民具マンスリ-』, 53巻5号		pp.1-12	有
38	宮地聡一郎	「地域動向(九州)」	単著	2020年5月	縄文時代文化研究会、『縄文時代』, 31		pp.238-241	無
39	遠部慎,	「伊予市高見I遺跡の炭素14年代測定」	共著	2020年5月	愛媛県埋蔵文化財センター、『研究紀要』, 16	沖野実	pp.1-14	無
40	遠部慎	「ヤトコロ遺跡の平地住居」	単著	2020年6月	吉留秀敏氏追悼論文集刊行会、『遺跡学研究の新天地-吉留秀敏氏追悼論文集-』		pp.233-243	無
41	上峯篤史	「中国北部における後期旧石器文化の形成」	単著	2020年6月	日本考古学協会、『日本考古学協会第86回総会研究発表要旨』		pp.14-16	無
42	中村大	「北日本の縄文時代における遺跡数をもとにした人口変動推定の試み」	単著	2020年6月	日本考古学協会、『日本考古学協会第86回総会研究発表要旨』		pp.152-153	無
43	遠部慎	「2019年の考古学界の動向」	単著	2020年6月	ニューサイエンス社、『考古学ジャーナル』755		pp.33-35	無
44	遠部慎	「黒島貝塚の整理ノート」	単著	2020年7月	九州縄文時代早期研究会、『九州縄文時代早期研究ノート』, 6号		pp.191-198	無
45	遠部慎,	「お宮の森裏遺跡の炭素14年代測定」	単著	2020年9月	長野県考古学会誌、『長野県考古学会誌』, 160(神村透氏追悼号)		pp.1-9	無
46	遠部慎,	「六部堂の歴史的経緯」	単著	2020年10月	現象と秩序企画編集室、『現象と秩序』, 13		pp.17-28	有
47	遠部慎,	「島根大学構内遺跡(1次調査)の炭素14年代測定-山陰地方を中心としたアカホヤ前後の土器の実年代-」	単著	2020年12月	山陰研究センター、『山陰研究』, 13		pp.1-15	有
48	遠部慎,	「地蔵ヶ淵洞穴の人骨の年代学的研究」	共著	2021年3月	中央史学会、『中央史学』, 44	畑山智史, 米田穰, 坂本彰, 小林謙一	pp.1-14	有
49	市木尚利	「ペルー考古学における「様式」概念」	単著	2021年3月	環太平洋文明研究センター、『環太平洋文明研究』, 第5号		pp.18-34	有
50	中村大	「秋田県米代川流域における縄文時代の人口現象と土坑儀礼の変化-圏論に着想を得たモデル化の試み-」	単著	2021年3月	環太平洋文明研究センター、『環太平洋文明研究』, 第5号		pp.55-75	有
51	上峯篤史	「存否問題のムコウ」	単著	2020年11月	旧石器基礎研究・次世代育成グループ、『旧石器時代研究への視座』, No.22		pp.24-25	有
52	遠部慎	「禰宜貝塚出土貝類の炭素14年代測定」	共著	2020年11月	和歌山市博物館、『和歌山市博物館紀要』, 36	畑山智史	pp.40-45	有
53	遠部慎	「石瀬貝塚の人骨の年代学的研究」	共著	2021年3月	とこなめ陶の森資料館、『とこなめ陶の森研究紀要』, 3	畑山智史・米田穰・小林謙一	pp.13-28	無
54	遠部慎	「利根川流域の縄文早期貝塚の年代測定」	共著	2020年9月	飛ノ台史跡公園博物館、『飛ノ台史跡公園博物館紀要』, 15	畑山智史	pp.19-32	無
55	矢野健一	「南九州縄文中期前半の土器編年再考」	単著	2020年12月	関西縄文文化研究会、『関西縄文論集』4		pp.1-13	無
56	松森智彦 中村大	「『防長風土注進案』産物・産業記載データベースシステムの改	共著	2021年1月	山口大学教育学部、『山口大学教育学部研究論叢』, 第70巻	五島淑子	pp.181-186	無

		良」						
57	中村大	『明治十年全国農産表』に記載された穀類・イモ類にみられる地域性の分析」	共著	2021年1月	山口大学教育学部, 『山口大学教育学部研究論叢, 第70巻	五島淑子	pp.187-196	無
58	Oki Nakamura	「Rethinking the Modern Population Problem From the Perspective of the Jomon Era」,	単著	2021年2月	RADIANT, Ritsumeikan University, FEATURE#02 Environment		pp.60-61	無
59	矢野健一 富田敬大 中村大 神松幸弘 酒向溪一郎	「2020年度立命館大学環太平洋文明研究センター-定例研究会報告(第30回~第34回)」	共著	2021年3月	環太平洋文明研究センター, 『環太平洋文明研究』, 第5号		pp.141-145	無
60	高橋学	「不適切な土地開発が拡大させた災害-2019年台風15号・19号災害を中心として」	単著	2021年3月	環太平洋文明研究センター, 『環太平洋文明研究』, 第5号		pp.76-94	有
61	SAUCEDO SEGAMI, D.	Towards an Archaeology of the Japanese Diaspora in Peru	共著	2020年10月	International Journal of Historical Archaeology (article not assigned to an issue) <a href="https://doi.org/10.1007/s10761-020-00562-8">https://doi.org/10.1007/s10761-020-00562-8</a>	Chirinos Ogata P.	pp.1-19	有
62	SAUCEDO SEGAMI, D.	Daniel Dante Relacionando el patrimonio cultural material e inmaterial para su uso y protección en la sierra norte del Perú	共著	2020年5月	Acta Hispanica, II, <a href="https://doi.org/10.14232/actahisp.2020.0">https://doi.org/10.14232/actahisp.2020.0</a> .	Seki, Y.	pp.737-746	有
63	サウゼド・セガミ・ダニエル・ダンテ	「あきんど」の街でペルーを味わう	共著	2020年4月	Vesta (ヴェスタ) No.118	丸岡真紀穂	pp.14-16	無
64	SAUCEDO SEGAMI Daniel	How do I see Public Archaeology in ten years in Peru	単著	2020年12月	Online Journal in Public Archaeology, Vol. 10 <a href="https://doi.org/10.23914/ap.v10i0.306">https://doi.org/10.23914/ap.v10i0.306</a>		pp.123-125	無

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	福本侑	「Diatom and Chrysophyceae Assemblages from the Holocene Alluvial Core Sediments at Southern and Western Coasts of Korea Peninsula」	2020年7月	地球惑星連合大会 2020, (オンライン開催)	鹿島薫, Yi Sangheon, YangDong-Yoon, Han Min
2	福本侑	珪藻分析を用いた九州西岸沿岸湖沼堆積物に残された巨大台風堆積層の再検討」	2020年7月	地球惑星連合大会 2020, (オンライン開催)	鹿島薫, 原口強
3	中川毅	「水月湖堆積物コアの多環芳香族炭化水素及び五環性トリテルペノイドメチルエーテル類に残された過去700年間人間活動の記録」	2020年7月	地球惑星連合大会 2020, (オンライン開催)	稲垣征哉, 中村英人, 山本正伸,
4	中川毅,	「Pollen isotope records from Lake Suigetsu, Japan」	2020年7月	地球惑星連合大会 2020, (オンライン開催)	山田圭太郎, 大森貴之, 北場育子, 山崎彬輝
5	中川毅	「Holocene biomass burning history reconstructed from the Lake Suigetsu sediments」	2020年7月	地球惑星連合大会 2020, (オンライン開催)	芦松, 中井淑恵, 山下洋平, 入野智久, 宮崎雄三, 多田隆治
6	中川毅	「Influences of East Asian summer and winter monsoons on the millennial-scale color	2020年7月	地球惑星連合大会 2020, (オンライン開催)	佐川拓也, 成田祐亮, 松崎琢也, 村山雅史, 長谷川卓, 後藤晶子



		alternation of Japan Sea sediment」			
7	山田和芳	「XRF コアスキャナーから推定された田沢湖湖底堆積物の堆積環境の変化」	2020年7月	地球惑星連合大会 2020, (オンライン開催)	石山陽子, 石山大三, 村山雅史, 林武司
8	福本侑, 藤木利之那須浩郎	「モンゴル北部ウランブルガス湖の珪藻化石群集と完新世後期の環境変化」	2020年12月	珪藻学会第40回研究集会, (オンライン開催)	Davaadorji Saindovdon
9	福本侑	「明美層高塚山部層(更新世中期)の珪藻化石群集と六甲山周辺域の地殻変動」	2020年12月	日本第四紀学会 2020年大会, (オンライン開催)	佐藤裕司, 加藤茂弘, 兵頭政幸
10	古川勇氣	「ペルー北部山村における環境開発とワカ信仰-地理的・空間的・伝承的なマッピングから」	2020年5月	第54回日本文化人類学会研究大会, 早稲田大学, (オンライン開催)	
11	古川勇氣	「ペルー北部山村の自然観と環境開発をめぐる人類学的研究-感情マッピングによる分析」	2020年6月	科学研究費新学術領域「出ユーラシア」B01 班研究発表, (オンライン開催)	
12	富田敬大	「社会主義モンゴルにおける牧畜の産業化と地方社会-乳・乳製品の生産・流通・消費を中心に」	2020年7月	日本農業史学会, 日本農業史学会 2020年研究報告会, 京都府京都市・京都大学	
13	森下直紀	「気候科学の不確実性について」	2020年8月	環境を考える相模原の会, (オンライン開催)	
14	富田敬大	「人新世における自然と文化-近代モンゴル社会を事例に」	2020年8月	環境を考える相模原の会, (オンライン開催)	
15	小川さやか	「インフォーマル経済とプラットフォーム資本主義」	2020年10月	アジア経済研究所ワークショップ『イノベーション・ネットワークの源泉を問う』, (オンライン開催)	
16	小川さやか	「パネル セッション 1. セッション 2」	2020年11月	コクヨ野外学習センタータウンホールミーティング』, (オンライン開催)	
17	小川さやか	「人はシェアする生き物」	2020年12月	第55回住総研シンポジウム『それでも人は他者と空間をシェアをする』, 建築会館・東京都港	
18	小川さやか	「Comment from Anthropological perspective」	2021年2月	国際シンポジウム『Past, Present and Future of Humanitarian and Development Aid: Rethinking the Aid Sector with Binalakshmi Nepram』, (オンライン開催)	
19	小川さやか	「エスノグラフィの実践としてのアナキズム」	2021年2月	ワークショップ『人類学に共感には必要か?』, (オンライン開催)	
20	酒向溪一郎	「人と家畜の贈与交換とその変容-スンバ島の婚姻/死者儀礼の事例から」	2020年12月	環太平洋文明研究センター第34回定例研究会, (オンライン開催)	
21	富田敬大	「農牧業協同組合(negdel)のもとでの家畜生産と土地利用」	2021年1月	『多重時空間エージェントモデルが拓く遊牧の科学』第8回研究会, (オンライン開催)	
22	古川勇氣	「ペルー北部山村の自然観と環境開発をめぐる人類学的研究-感情マッピングによる分析」	2021年1月	新学術領域「出ユーラシア」第4回全体会議, 東京大学(東京都文京区)	
23	川村貞夫	「負圧効果による吸着機能を有する壁面作業水中ロボットの設計と開発」(1A1-B14)	2020年5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会 2020 in 金沢 (ROBOMECH2020), (オンライン開催)	岩堀貴純, 山田大貴, 坂上憲光
24	川村貞夫	「時間軸変換を用いた柔軟体の特性推定」(1A1-M07)	2020年5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会 2020 in 金沢 (ROBOMECH2020), (オンライン開催)	王忠奎, 坂上憲光
25	川村貞夫	「バックドライバビリティを有する水中ロボットアームの設計」	2020年5月	ロボティクス・メカトロニクス講演会 2020 in 金沢	児島隆弘, 住友尚輝, 加古川篤

				(ROBOMECH2020), (オンライン開催)	
26	矢野健一	「持続型社会モデル具体化への方針」	2020年6月	立命館大学環太平洋文明研究センター研究会, 第30回定例研究会, 立命館大学衣笠キャンパス, (オンライン開催)	
27	上峯篤史	「中国北部における後期旧石器文化の形成」	2020年6月	日本考古学協会, 日本考古学協会第86回総会, (新型コロナウイルス感染問題により誌上発表)	
28	遠部慎	「猿楽遺跡出土土器の脂質分析-縄文晩期の四国山地-」	2020年6月	日本考古学協会, 日本考古学協会第86回総会(新型コロナウイルス感染問題により誌上発表)	柴田昌児, 宮里修, 宮内信雄, 堀内晶子, 吉田邦夫, 宮田佳樹
29	中村大	「北日本の縄文時代における遺跡数をもとにした人口変動推定の試み」	2020年6月	日本考古学協会, 日本考古学協会第86回総会, (新型コロナウイルス感染問題により誌上発表)	
30	中村大	「圏論とレジリエンス理論による研究の図式化, 一体的な成果化への展望」	2020年8月	立命館大学環太平洋文明研究センター研究会, 第32回定例研究会, 京都府京都市・立命館大学衣笠キャンパス, (オンライン開催)	
31	遠部慎	「四国西南地域における縄文弥生移行期の雑穀類の年代学的研究」	2020年9月	日本文化財科学会, 日本文化財科学会第37回大会, (新型コロナウイルス感染問題により誌上発表)	柴田昌児, 宮里修, 蔵本晋司, 竹原弘展, 宮田佳樹
32	遠部慎	「地蔵ヶ淵洞穴の再評価」	2020年11月	第74回日本人類学会大会, 日本人類学会, (オンライン開催)	
33	市木尚利	「中期ホライズンにおけるワウラ様式の人物型図像とその特徴について」	2020年12月	古代アメリカ学会, 第25回古代アメリカ学会研究大会, (オンライン開催)	
34	市木尚利	「ワウラ土器に関する所見-コレクションの特徴と真贋裁定-」	2021年2月	東海大学アンデスコレクション研究懇談会, 2020年度第2回東海大学アンデスコレクション研究懇談会, 神奈川県秦野市・東海大学	
35	上峯篤史	「東アジア鋸歯縁石器群の基礎的研究(3)」	2021年2月	パレオアジア文化史学-アジア新人文化形成プロセスの総合的研究- 文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型) 平成28~32年度, パレオアジア文化史学第10回研究大会, (オンライン開催)	
36	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	La inmigración japonesa al Perú: Un estudio desde la perspectiva	2020年8月	II encuentro de investigadores peruanos en Japón - Asociación Peruana de Estudiantes y Egresados en Japón (Online)	
37	SAUCEDO SEGAMI Daniel	Los recursos culturales y el público: Una visión desde el Programa de Arqueología Pública “Huacas de la Molina”	2020年10月	Conversatorio “La Huaca y el Municipio: Iniciativas desde los gobiernos locales” Ministerio de Cultura Perú (Online)	
38	サウセド・セ ガミ・ダニエル・ダンテ	「ペルー中央海岸部リマ市・モリナ区における古代給水システムの研究」	2020年12月	古代アメリカ学会第25回研究大会・総会 オンライン	
39	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante Serial A	A Bridge between the Past and the Present: Cultural Heritage as a Mean to Build Social Memory in Peru	2021年3月7日	cademic Webinars Cultural Transmission against Collective Amnesia: Bodies and Things in Heritage Practices, National Museum of Ethnology Japan (online)	SEKI Yujī

40	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Public archaeology and heritage in Peru: social memory as a tool to connect the past and the present	2021年2月	Cultural Heritage as a Driver for Meeting the Sustainable Development Goals, Archaeologists Without Borders of the Maya World (Online)	
----	-----------------------------------	--	---------	--	--

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	環太平洋文明研究センター第30回定例研究会, (オンライン開催)	オンライン開催	2020年6月26日	8	
2	環太平洋文明研究センター第31回定例研究会, (オンライン開催)	オンライン開催	2020年7月31日	9	
3	環太平洋文明研究センター第32回定例研究会, (オンライン開催)	オンライン開催	2020年8月28日	8	
4	環太平洋文明研究センター第33回定例研究会, (オンライン開催)	オンライン開催	2020年9月24日	8	
5	環太平洋文明研究センター第34回定例研究会, (オンライン開催)	オンライン開催	2020年12月8日	8	
6	環太平洋文明研究センター第35回定例研究会, (オンライン開催)	オンライン開催	2021年2月4日	8	
7	環太平洋文明研究センター第35回定例研究会, (オンライン開催)	オンライン開催	2021年3月18日	9	

5. その他研究活動 (報道発表や講演会等)				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	中川毅	「今まで諦めていた「普通の土」でも年代測定が可能に■立命館大学古気候学研究センターが化石花粉の放射性炭素年代を測定するサービス事業「POLARIS」を開始」	紀伊民報, デジタル版	2021年1月21日
2	中川毅	「県年輪博物館を題材に放送大学が講義を収録」	中日新聞, デジタル版	2021年2月18日
3	小川さやか	「日本人の忘れもの知恵会議 対談シリーズ 未来へ受け継ぐ① 小川さやか (文化人類学者) × 佐野友亮 (造園家)」	京都新聞 6面,	2020年4月28日
4	小川さやか	「日本人の忘れもの知恵会議 オンラインフォーラム ポストコロナを生き抜く知恵」	京都新聞 3面	2020年5月14日
5	小川さやか	「日本人の忘れもの知恵会議 対談シリーズ 未来へ受け継ぐ② 小川さやか (文化人類学者) × 鷲尾龍華 (石山寺責任役員)」	京都新聞 10面	2020年6月29日
6	小川さやか	「上半期の収穫」	週刊読書人 6面	2020年7月24日
7	小川さやか	「日本人の忘れもの知恵会議 対談シリーズ 未来へ受け継ぐ③ 小川さやか (文化人類学者) × 西山徳明 (北海道大学教授)」	京都新聞 8面	2020年8月25日
8	小川さやか	「水曜エッセー-香港のタンザニア人 折衷料理に商機あり」	赤旗 9面	2020年8月26日
9	小川さやか	「水曜エッセー-香港のタンザニア人 田舎で父一人の子育て」	赤旗 9面	2020年9月2日
10	小川さやか	「水曜エッセー-香港のタンザニア人 暇さえあればSNS」	赤旗 9面	2020年9月9日
11	小川さやか	「空想書店 贈与経済 値段から解放」	読売新聞 9面	2020年9月13日
12	小川さやか	「人間社会の混沌 密着する新世代」	朝日新聞フロントランナー-3面	2020年9月19日
13	小川さやか	「研究が進むときは、いつも偶然の出会いが」	朝日新聞フロントランナー-3面	2020年9月19日
14	小川さやか	「Beyond the Biz ビジネスを越境せよ」	Beyond the Biz by Filament, inc	2020年6月30日

		#5 Business × 文化人類学(そして哲学、再び)」	(オンラインで参加)	
15	小川さやか	「関西ラジオワイド(旬の人・時の人)」	NHK ラジオ放送	2020年7月17日
16	小川さやか	「道上洋三の健康道場」	朝日放送ラジオ	2020年7月11日、 2020年7月28日
17	小川さやか	「柴崎友香『百年と一日』(筑摩書房)刊行記念 イベント」	梅田蔦谷書店	2020年8月21日
18	小川さやか	「日本人の忘れもの知恵会議 対談シリーズ 未来へ受け継ぐ④ 小川さやか(文化人類学者)×上野千鶴子(社会学者)」	京都新聞 10面	2020年10月23日
19	小川さやか	「プロムナード 行商人の進化」	日経新聞夕刊 8面	2021年1月8日
20	小川さやか	「本よみうり堂 世相を映すタクシー(矢貫隆著『いつも鏡を見てる』)」	読売新聞朝刊 8面	2021年1月10日
21	小川さやか	「プロムナード 危機下の機転」	日経新聞夕刊 10面	2021年1月15日
22	小川さやか	「プロムナード 人間らしい経済」	日経新聞夕刊 8面	2021年1月22日
23	小川さやか	「プロムナード 路上のネイルアート」	日経新聞夕刊 10面	2021年1月29日
24	小川さやか	「プロムナード 共に食べる」	日経新聞夕刊 10面	2021年2月5日
25	小川さやか	「コロナの時代を読む(6)ルールの厳格化より信頼」	読売新聞朝刊 9面	2021年2月7日
26	小川さやか	「プロムナード 言葉を贈る」	日経新聞夕刊 8面	2021年2月12日
27	小川さやか	「本よみうり堂 人間の根源への問い(ヤン・プランパー著『感情史の始まり』)」	読売新聞朝刊 12面	2021年2月14日
28	小川さやか	「プロムナード ゾンビはいる!？」	日経新聞夕刊 8面	2021年2月19日
29	小川さやか	「プロムナード 議論を遊ぶ」	日経新聞夕刊 10面	2021年2月26日
30	小川さやか	「本よみうり堂 ネットを巡る現実と理想(マシュー・ハインドマン著『デジタルエコノミ-の罨』)」	読売新聞 13面	2021年2月28日
31	小川さやか	「コロナに負けない!京都産業の新しい価値」	『きょうと府民だより3月号』, 京都府	2021年3月2日
32	矢野健一	「日本の歴史を変えた遺跡-縄文・弥生編」	NHK 文化センター梅田教室	2020年9月26日
33	栗畑光博	「滝沢秀明の火山探検紀行 巨大カルデラ噴火の謎に迫る」	NHK BS4K, テレビ出演	2020年7月6日
34	高橋学	「首都圏、東海地方に大地震の予兆」	日刊ゲンダイ 3面	2020年4月28日
35	高橋学	「迫りくるコロナ震災」	日刊ゲンダイ 3面	2020年5月8日
36	高橋学	「巨大地震が来てしまったら」	日刊ゲンダイ 9面	2020年5月12日
37	高橋学	「次は長野・京都・愛知要警戒」	夕刊フジ 3面	2020年5月20日
38	高橋学	「首都直下地震の足音」	日刊ゲンダイ 5面	2020年5月23日
39	高橋学	「地震津波から助かる率を上げる」	日刊ゲンダイ 16面	2020年5月28日
40	高橋学	「首都圏に迫る大地震 本当の危険度」	週間フライデー, pp.34-35	2020年5月29日
41	高橋学	「緊急地震速報3連発が暗示するメッセージ」	週刊女性, pp.26-27	2020年6月2日
42	高橋学	「日本列島で相次ぐ地震、東京湾群発も首都圏では「三重」のリスク、関西地方も巨大地震の前段階の兆候地震」	zakzak by 夕刊フジ インターネット版	2020年6月4日
43	高橋学	「これは巨大地震の予兆か?」	週刊ポスト, pp.53-55	2020年6月5日
44	高橋学	「神奈川・三浦半島で原因不明の異臭騒ぎ」	夕刊フジ 2面	2020年6月7日

45	高橋学	「首都直下地震の前兆か」	夕刊フジ 12 面	2020 年 6 月 8 日
46	高橋学	「全国で地震連発」	週間フラッシュ, pp.90-91	2020 年 6 月 8 日
47	高橋学	「関東で相次ぐ地震は「首都直下地震の予兆」と専門家 北海道は 3.11 超えリスクも」	AERA.dot インターネット版	2020 年 6 月 13 日
48	高橋学	「三浦半島の「異臭騒ぎ」は相模トラフ大地震の前触れか？」	週プレ NEWS インターネット版,	2020 年 6 月 15 日
49	高橋学	「首都圏直下地震 近接の状況証拠」	日刊ゲンダイ 3 面	2020 年 6 月 18 日
50	高橋学	「危険な自治体ランキング」	週刊朝日, pp.18-23	2020 年 6 月 19 日
51	高橋学	「千葉で震度 5 弱」	夕刊フジ 3 面	2020 年 6 月 26 日
52	高橋学	「首都圏を襲う巨大地震発生へのカウントダウン」	週間フライデー pp.52-53	2020 年 6 月 26 日
53	高橋学	「火山活動活発化で大震災の恐怖」	日刊ゲンダイ 3 面	2020 年 6 月 29 日
54	高橋学	「関東大震災と酷似…？相模沖・巨大地震発生の予兆とは」	デジタルフライデー	2020 年 6 月 30 日
55	高橋学	「正体不明の悪臭まで…大地震の前兆に震える日本」	Chosun Online	2020 年 7 月 3 日
56	高橋学	「三浦半島の異臭南海トラフ地震の予兆だ」	週刊ポスト, pp.56-57	2020 年 7 月 3 日
57	高橋学	「東京・大阪水没危険地域」	夕刊フジ 3 面	2020 年 7 月 8 日
58	高橋学	「高リスク地形被害拡大」	産経新聞 3 面	2020 年 7 月 11 日
59	高橋学	「九州豪雨」	デジタルフライデー	2020 年 7 月 12 日
60	高橋学	「3 年前の豪雨教訓に」	産経新聞 3 面	2020 年 7 月 12 日
61	高橋学	「専門家が指摘「スーパー南海地震」 茨城から沖縄、フィリピンを襲う想定被害規模とは？」	AERA.dot	2020 年 7 月 13 日
62	高橋学	「地震と豪雨の現在地」	週刊アエラ, pp.10-15	2020 年 7 月 13 日
63	高橋学	「豪雨被害 東京大阪危険エリア」	日刊ゲンダイ 5 面	2020 年 7 月 13 日
64	高橋学	「日本全国で火山が同時噴火する」	週刊フラッシュ, pp.86-87	2020 年 7 月 21 日
65	高橋学	「日本各地で河川大氾濫が起きる日」	週間フライデー, pp.24-25	2020 年 7 月 24 日
66	高橋学	「東京-横浜-静岡-名古屋大地震」	週刊現代, pp.52-56	2020 年 7 月 25 日
67	高橋学	「生死を分ける避難術」	サンデー毎日, pp.14-17,	2020 年 7 月 26 日
68	高橋学	「三浦半島の異臭相模トラフ大地震の前触れか？」	週刊プレイボーイ, p.165	2020 年 7 月 29 日
69	高橋学	「荒川・多摩川同時氾濫で死者 8 万人」	女性セブン, pp.166-167	2020 年 7 月 30 日
70	高橋学	「緊急地震速報誤報」	夕刊フジ 3 面	2020 年 8 月 1 日
71	高橋学	「スーパー南海地震」	週刊女性, pp.144-147	2020 年 8 月 4 日
72	高橋学	「コロナだけじゃない避難所リスク」	夕刊フジ 3 面	2020 年 8 月 15 日
73	高橋学	「温暖化で急増中…！殺人「集中豪雨」発生危険マップ」	デジタルフライデー	2020 年 8 月 18 日
74	高橋学	「スーパー南海地震」	デジタルフライデー	2020 年 8 月 18 日
75	高橋学	「横須賀で異臭騒ぎの怪」	東京新聞 22 面	2020 年 8 月 26 日
76	高橋学	「伊勢湾級相次ぐ恐れ」	夕刊フジ 3 面	2020 年 9 月 4 日
77	高橋学	「三浦半島異臭騒ぎは関東大地震の前兆なのか」	週刊現代, pp.74	2020 年 9 月 5 日

78	高橋学	「京都・名古屋の危険度」	夕刊フジ 3面	2020年9月6日
79	高橋学	「不気味な巨大地震の前兆」	日刊ゲンダイ 3面	2020年9月7日
80	高橋学	「福井から不気味に伸びる断層」	産経新聞社 4面	2020年9月7日
81	高橋学	「未曾有の大豪雨がやってくる」	週刊フライデー, pp.54-55	2020年9月11日
82	高橋学	「あてなる」あまづら 幻の味」	日本経済新聞 24面	2020年9月22日
83	神松幸弘	「地震頻発と異臭騒ぎに関連」	日刊ゲンダイ, 3面	2020年9月28日
84	高橋学	「殺人台風から命と財産を守る」	主婦と生活社, pp.35-37	2020年9月29日
85	高橋学	「コロナウイルスによるロックダウンリスクについて」	報道番組ミント, 毎日放送	2020年4月2日
86	高橋学	「おはようパーソナリティ 地震」	ABC ラジオ	2020年5月12日
87	高橋学	「三浦半島異臭」	FNN ニュース, フジテレビ	2020年7月17日
88	高橋学	「三浦半島異臭」	めざましテレビ, フジテレビ	2020年7月18日
89	高橋学	「三浦半島4度目の異臭」	サンデーLive, テレビ朝日	2020年9月27日
90	高橋学	「小泉環境相も関心、神奈川県内での異臭騒ぎの正体は 原因についてはさまざま推測があるが…」	zakzak	2020年10月6日
91	高橋学	「台風上陸なら今年初、気になる警戒地域 東西に山地ある西日本注意、首都圏は川の増水の恐れ」	zakzak	2020年10月9日
92	高橋学	「謎の異臭」は三浦半島を北上していた！ ついに菅総理の自宅に到達」	Smart FLASH	2020年10月12日
93	高橋学	「文献が示す「異臭」と「地震」の関係 神奈川で相次ぐ異臭騒ぎ…関東・阪神淡路大震災の前後に“ガスの記録”」	zakzak	2020年10月13日
94	高橋学	「三浦半島異臭騒ぎ」	AERA	2020年10月14日
95	高橋学	「石油タンク漏れ？ 大地震の前兆？ 青潮？ 横須賀・横浜の異臭で深まる謎」	東京新聞	2020年10月16日
96	高橋学	「10月は既に7回…神奈川「謎の異臭」騒動に“SNS 主犯説”浮上」	日刊ゲンダイ	2020年10月20日
97	高橋学	「調布に深さ5mの大穴が…街に突然「陥没」ができる恐ろしい理由」	FRIDAY	2020年10月27日
98	高橋学	「調布市道路陥没」	FNN プライムオンライン	2020年11月5日
99	高橋学	「《東京・調布市》住宅街の路地で5mの陥没！ 住民を襲ったズンズンズン音の正体」	週刊女性 PRIME	2020年12月2日
100	高橋学	「コロナ禍でも要警戒…大震災への“秒読み”は始まっている」	日刊ゲンダイ DIGITAL	2021年1月2日
101	高橋学	「迫る南海トラフ巨大地震と富士山噴火「密」環境で避難所パニックも」	AERA dot	2021年1月6日
102	高橋学	「宮城・福島で震度6強、次に警戒すべき地域は？ 夕刊フジ新春号で警告していた「MEGA地震予測」 首都圏、信越に加え「南海トラフ」に影響も」	zakzak	2021年2月15日
103	高橋学	「おはようパーソナリティ-道上洋三です」	朝日放送ラジオ	2021年2月15日
104	高橋学	先週から突然異臭が“復活” きょうも「ガスのにおい」通報」	FNN プライムオンライン	2021年3月15日
105	高橋学	「和歌山で地震が頻発…本当に南海トラフと無関係なのか？」	日刊ゲンダイ DIGITAL	2021年3月17日
(講演会)				
1	小川さやか	「リ-ブフログ型発展のゆくえ-東アフリカ諸国を事例に」	第11回 地域金融変革運動体, 金融庁・東京都千代田区	2020年4月26日

2	小川さやか	「人類学的なフィールドワークについて」	スマートニュースメディア研究所, (オンライン開催)	2020年7月21日
3	小川さやか	「総合討論」	第54回住総研シンポジウム, Plat 295・東京墨田区	2020年8月1日
4	Sayaka Ogawa	“The Logic of “Open Reciprocity” in the Tanzanian Union in Hong Kong and China”	World Economy, 横浜国立大学, (オンライン開催)	2020年8月12日
5	小川さやか	「窮地における嘘と笑いータンザニアの都市住民を事例に」	第2回京どころ会議研究会, 京都大学稲盛財団記念館・京都府京都市	2020年8月19日
6	小川さやか	「リープフロッグ現象をめぐる理解を超えてータンザニア交易人によるコロナ後の対応を事例に」	立命館オンラインセミナー, 立命館大学朱雀キャンパス・京都府京都市	2020年8月29日
7	小川さやか	「リープフロッグ現象をめぐる理解を越えてータンザニア交易人によるコロナ後の対応を事例に」	西園寺塾, 立命館大学東京キャンパス(東京都千代田区)	2020年10月3日
8	小川さやか	「偶然であることの豊かさ(Session 2 なぜ人はあまいさを嫌うのかーコントロールしたい欲望を解き放つ)」	立命館大学教養教育センター『SERIES リベラルアーツ 自由に生きるための知性とは何か』, 立命館大学(京都市北区)	2020年10月18日
9	小川さやか	「経済は一つではない」	信頼資本財団『信頼デイ』, ハートピア京都(京都府中京区)	2020年10月31日
10	小川さやか	「偶然を織り込んだシェアリング経済ー香港のタンザニア人を事例に」	デジタルハリウッド大学特別講演, デジタルハリウッド大学(東京都千代田区)	2020年12月23日
11	小川さやか	「ひとの見方を変えることから世界を変える」	環境省ローカルSDGsリーダー研修『migakiba(ミガキバ)』, (オンライン開催)	2021年1月8日
12	小川さやか	「シェアと他動力」 伊藤豊雄・小川さやか・ドミニクチェン・千々和淳「まじる長野、学ぶ長野」	Learn By Creation NAGANO, amu by Concent(東京都渋谷区)	2021年1月16日
13	小川さやか	「新型コロナ禍での労働を考える」	ビジネス・ブレイクスルー社『社会人研修事業本部リベラルアーツ講座』, (オンライン開催)	2021年2月16日
14	中村豊	「徳島の縄文1ー集落と祭祀ー」	令和2年度アワコウコ楽公開講座, 徳島県板野郡板野町・徳島県立埋蔵文化財総合センター	2021年10月11日
15	中村豊	「徳島の縄文2ー農耕の起源ー」	令和2年度アワコウコ楽公開講座, 徳島県板野郡板野町・徳島県立埋蔵文化財総合センター	2021年11月8日
16	市木尚利	「ワウラ様式図像彩色土器の図像にみる“人物型図像”(スペイン語タイトル “Personajes” en la iconografía del estilo Huaura Policromo Figurativo)」	ヴァーチャル学術イベント第1回講演(スペイン語タイトル N° 1 Ponencia: Eventos académicos virtuales- Ruta por Lima), ペルー・リマ(オンライン開催)	2020年12月18日
17	矢野健一	「縄文時代の京都」	アスニーセミナー, 京都市中京区・京都アスニー	2021年1月29日
18	矢野健一	「大阪・京都の『縄文から弥生へ』」	2020年度 大阪・京都文化講座, 大阪市北区・立命館大学朱雀キャンパス, (オンライン開催)	2021年2月15日

## 6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	小川さやか	公益財団法人 日本文学振興会	第51回 大宅壮一ノンフィクション賞	『チョンキンマンションのボスは知っているーアングラ経済の人類学』	2020年6月
2	小川さやか	一般財団法人 河合隼雄財団	第8回 河合隼雄学芸賞	『チョンキンマンションのボスは知っているーアングラ経済の人類学』	2020年6月

## 7. 科学研究費助成事業

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	河角直美	歴史GISによる京都の都市景観復原と地形の居住地選択への影響に関する研究	基盤研究C	2020年4月	2024年3月	代表
2	小川さやか	「アフリカ諸国における暗号通貨を利用した国際取引に関する人類学的研究」	基盤研究C	2020年4月	2025年3月	代表

